

# 令和5年版環境白書

## 第1章 人と自然との共生の確保

### 3. 森・里・川・海の保全と活用

#### (3) 良好な景観の保全と創造

- ① 市町村による良好な景観形成のための計画づくりの支援
- ② 住民団体やNPO、企業等による景観づくり活動の支援
- ③ 魅力ある景観の普及啓発や観光施策と連携した情報発信
- ④ 大規模行為の届出（一定の規模を超える建築物等の設置や開発行為に係る届出）に対する指導等の適正な運用

#### (1) 事業目的

地域の特性が生かされた魅力ある景観の保全と創造を図り、誇りと愛着の持てる県土の実現に資することが目的です。

わたしたちの暮らしや地域の発展との調和を図りながら、過去の世代から受け継いだ貴重な景観を守り、育てることにより、生活と文化の豊かさを実感できる県土を創るため平成3年12月に「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定しました。

この条例に基づき、良好な景観形成の推進を図るとともに、県内全域において、大規模な建造物の建設や開発行為などについて、適切な景観づくりを誘導しています。

なお、平成16年12月に「景観法」※1が施行されたことを受けて、県では、市町村によるよりきめ細かな景観づくりの推進を図ることとしています。

#### (2) 取組状況

##### ① ふるさと島根の景観づくり事業費補助金

地域を主体とした魅力ある景観づくりを促進するために、島根県景観づくり基金（約4.0億円）により、住民や事業者が各種協定に基づき行う景観形成活動や、市町村等が行う景観向上のための自主的かつ積極的な活動を支援しています。

令和4年度は、市町村等の景観づくり経費補助が1件ありました。

##### ② 築地松景観保全整備事業

出雲平野の自然と文化に根ざした個性ある景観をつくり出している築地松を後世に伝え残すため、築地松景観保全対策推進協議会が行う築地松の保全整備活動を支援しています。

令和4年度末現在で、特定86件、一般69件、合計155件の築地松景観保全住民協定を認定しています。

##### ③ 景観アドバイザー制度

住民等の景観づくりを支援するために、「景観アドバイザー派遣」※2を行っています。令和4年度は派遣の依頼がありませんでした。（参考 令和3年度実績：4件）

##### ④ しまね景観賞

優れた景観を形成している建物などを表彰することにより、県民の景観に対する意識高揚を図るため、「第30回しまね景観賞」を実施しました。

令和4年度は、96通の応募があり、例年募集している「まち・みどり・活動」など5部門に、節目となる第30回を記念する「景観づくり貢献賞」を加えた6部門で12件の表彰を行いました。

- ⑤ 景観に影響を与える建築物、工作物の設置や開発行為について、事前に届出を求め、良好な景観形成のためにその行為の形態、意匠、緑化等について必要な指導・助言を行っています。  
令和4年度は、大規模行為の届出が92件ありました。

---

## 《用語解説》

### ※1. 景観法

都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、良好な景観の形成に関する基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定、景観計画区域、景観地区等における良好な景観の形成のための規制等所要の措置を講ずる日本で初めての景観についての総合的な法律。

### ※2. 景観アドバイザー

市町村等によるまちづくりなどに関連する地域づくりの際に、県が景観に関する助言を行うことを認定した人のこと。

## 【担当課】

所属名	問い合わせ先
(主) 都市計画課	0855-22-6773